

6月の電話相談・来室相談から ～ 単身赴任の父親からの相談 ～

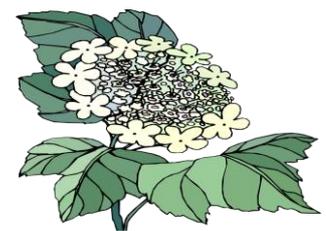
単身赴任をされていて、月に数日しか戻れないという父親からの相談です。たまに帰っても息子に毛嫌いされているようで、どんなにかわりをすればいいのか教えてほしいという相談内容でした。

家族と離れている時間が多い父親にすれば、たまに帰宅した時こそ家族で部活のことや勉強のことをききたいし、進路について相談を受けたいという思いがあるのだろうことは察せられます。

子どもにもよるでしょうが、思春期の子どもは小学生とは明らかに違ってきます。親（大人）に対して口答えをしたり、無視するような態度もその特徴だと思います。それだけにかかわり方が難しく、共通の話題がない場合は、同じ空間にいること自体、重苦しく感じることもあるものです。しかし、子育ての目的は一人前に育てあげることにあると大きく捉え、無視や口答えも成長の一過程であると考えれば、毛嫌いはされようがどうということはないように思います。ただ、子どもと顔を合わせる時間がいくら少なくとも子どものことは理解しておきたいものです。「好きな食べものは何なのか」「今、どんなことに興味関心を持っているのか」「親しくしている友達是谁なのか」「好きな芸能人や好きな音楽は何か」「担任の先生は誰で、どんな先生なのか」等。その辺は夫婦で情報交換し、連携を取ることになるだろうと思います。

赴任先から手紙をしたためるということも考えられます。短くても真心を込めて（筆短情長）で、中身は妻（母親）から頑張っている様子を聞いていること、母親を助け、妹の面倒を見てくれていることへの感謝、そして、健康に留意し勉強や部活を頑張れ・・・等を綴ってみたらどうでしょうか。

子育て期は夫婦ともに膨大な仕事をする時期であり、やってもやっても追いつかない量の仕事に追われている方も少なくないと思います。父親が家庭を離れていても、母親とは違う大人がもうひとり家族にいることはとても重要で、不安定な子どもの心を支えてくれる父親がいてくれることで、きっと子どもは自信を持ってひとりで立つことができるのだと思います。



「かつての通級生は今・・・」

通級生全員が中学3年生だった一昨年度、今年度（中3は8割）と似ています。シャイニングクラスから巣立って行った若者たちが日々どんな生活をしているだろうということは、送り出した側の一員としてはとても気になることです。

一昨年度のここから巣立っていった生徒たちの入級の発端はいろいろありますが、やはり学校という集団の中での生活にうまく溶け込めなかったことが大きな要因だったのでしょうか。そして、2～3年弱このクラスで学習を継続、考えに考えた末自分のめざす道を見出し、現在もなおたくましくその進路で努力し続けています。すばらしいことだと思っています。

出してやった身としては、当時、時間通り通学ができるだろうかとか、友達関係はうまくいくのだろうかとか、授業・行事はどうなるだろう・・・など、たくさんの心配事ばかりが先行していました。しかし、そんな心配はなんのその。数ヵ月後の夏休み、ワイワイガヤガヤ集まってきた彼らの言葉の力強いこと。しかも自信に満ちていて、集団がどうのこうのと言っていたことが嘘のようでした。それぞれのあの力強いジャンプの引き金になったことは、一体どんなことだったのでしょうか。今も不思議でたまりません。

また夏休みが目前になりました。たぶん昨年のように、精神的にさらに成長した彼らが集うことでしょう。その中から”引き金”を見出し、現在の通級生に少しでも反映しなければと考える毎日です。

「進路選択に向けて」

進路に関する話は、日頃から意識して朝の会で話の端々に出すようにしていたのですが、2時間の時間を設定し、6月19日進路学習を行いました。人生80年時代を意識させ、将来の夢を持ち、高校を選択し、進んでほしいという思いからです。3名とも高校に進学したいという思いはあっても、なかなか学習に身が入らなかつたり、テストは受けたくないというのがその時までの様子でした。入試制度や各高校の特色・過去の私たち相談員の体験等を伝え、生活リズムの大切さに気づくように授業を展開しました。「現実をたたきつけられた気分だった。」「高校についての知識を補充できてよかった。」「今までも何となく意識していたけど、改めてちゃんと勉強としなきゃいけないと思った。」「いろいろ考えた結果やっぱり勉強だな。」と、感想を書いていました。



シャイニングでの教科学習時間は少ないので、担当者はさまざまな工夫をしながら進めています。先の進路指導が効を奏したのか、先日は「定期テストを受けます。復習やテスト勉強をやります。」という驚きの声を聞くことができました。

6月上旬のものづくりI「知恵の輪づくり」では、欠席者の分を作ったり、「知恵の輪」解きを教え合うなど、仲間意識や助け合いの気持ちが育っていて嬉しく感じました。毎日の生活の向上を期待している今日この頃です。



畑作業「除草・土寄せ」7月3日

7月の活動 シャイニングクラス在籍 5名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 数学、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 理科、体育 ○ 木曜日 体験活動（月2回）

7月28日（月）～8月8日（金）の期間中は、市民プラザと相談室で自主学習の予定です。

- ◆ 体験活動⑤ 7月 3日（木）
「畑作業（除草・土寄せ）」
- ◆ 体験活動⑥ 7月17日（木）
「絵手紙づくり（暑中見舞い）」
- ◆ 体験活動⑦ 8月 8日（金）
「エダマメの収穫・販売」



あ と が き

平成26年も半年が経過しました。6月の市内の不登校（傾向）児童生徒数は28名、前月比2名解消です。年度当初の職員会議でこんな話をしたことを思い出しています。「自分の担任する生徒の中に、もし不登校になりそうな生徒がいたらどの子どもで、どんな理由で不登校になってしまうのかを予想してみてください。そうならないような学級経営をお願いします。」と。間もなく夏休みです。県中総体、東北大会と忙しい7、8月ですが、子どもたちには、家庭や学校ではできないボランティア活動（YYボランティアセミナー参加）や少年自然の家で毎年実施される自然体験活動への参加をお勧めします。一歩前に踏み出すことで、新しい出会いや新たな発見をすることでしょう。

教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室（シャイニング）
TEL 22-2111
（内線 445、448）
林、小野、鈴木が担当です。